

## テント一週一文（ぬ）——フランスの廃炉計画

（承前）

何かの資料を読んでいて、しばらく静かだったこの女性は、  
「あの記事はどこだったかしら？」と独り言を言って、何が入っているのか知らないが、重そうなバッグの中を探し始めた。

「あっ、これこれ」と、また横文字の紙を取り出した。

「スイスで5月21日に住民投票があって脱原発を決めたって、前に話したでしょう。2ヶ月前よ」

「覚えていますよ」

「今度は、フランスで大量廃炉だそうよ」

「えっ、フランスって原発王国でしょう」

「そうね、現在は19カ所に原発があって58基の原子炉、電力の75%を原発でまかなっているのよ、原発王国って言うてもいいわね。でもね、2年前の2015年には、10年後の2025年までに、原発への依存度を50%に減らすって決めていたのよ」

「ということは、これから7~8年の間に25%も減らすのですか？」

「全くの素人のあなたも驚くでしょう！ だから出来るのかなって思っている人は多いのよ。いや、多かったのよ」

「あなたも、無理って思っていたでしょう」

「私は評論家よ。評論家は自分の意見は言わないものよ、日本ではね。それはそれとして、フランス政府の環境大臣が、7月10日この前ね、2025年までに少なくとも17基の原発を廃炉にするって発表したの。それ位の数の原子炉を廃炉にしたら、50%位になるっていう計算でしょうね、多分」

「それでもまだ40基以上も稼働するのですね」

「さあ、そうなるかどうかは分からないのよ」

「どうしてですか？」

「今稼働している原子炉の75%が、2027年には稼働40年を越えるのよ……」

「ちょっとまって下さいね。58基の75%は……、40基以上じゃないですか！」

「稼働が40年を超えた原発は、フランスの場合、稼働を継続するには原子力委員会の認可が必要だとされているし、補修に何10億ユーロっていう額が必要になるだろうし……稼働継続も簡単じゃないのよ」

「2025年までに17基を廃炉にしたとして、2027年までにその認可は補修が必要な原子炉は23基以上もあるじゃないですか」

「素人のあなたも大変だって思うでしょう」

「思いますよ、それで、2025年までに17基の廃炉は確実なのではないですか？」

「フランスの政治がどう動くかに左右されると思うわ、評論家の私としては」

「どういうことですか？」

「右派の力が強くなればいろいろ理由をつけて巻き返しがあるだろうっていうこと。原発で働いている人たちの生活を考えれば労働組合は廃炉に反対するだろうし、フランスでのエネルギー転換はうまく進んでいないし……。決めたからそうなるって言うほど簡単じゃないと思うわ」

「右派の力っていうのは日本の評論家の見通してとして、フランスの中では、この発表への評判はどうなのですか？」

「短い記事だから、載っているのは反原発ネットワーク代表の、『基本的に歓迎、計画の具体像を提出し、更なる脱原発を進めるべきだ』という意見だけ」

「たしか、オランダ前大統領の政権末期に、ドイツとの国境に近いフランス最初のフッセンハイム原発の廃炉が決まりましたよね」

「そうそう、あそこも 2025 年までの廃炉の対象ね。でも、あそこ廃炉と引き換えに別の原発の稼働も決まっているのよ」

「そうなのか。そうすると、フランスは脱原発に舵を切った、とは言えないじゃないですか？」

「言えないわね。だから、この記事を書いたドイツのジャーナリストのスタンスは、『2015 年に決めた政策の後始末が始まった』というニュアンスじゃないのかしら。だから、ドイツの大きな新聞には載ってなかったように思うわ、私の気付いた限りでは。私の好きな新聞には短い記事が載っていたけど」

「この記事は新聞じゃないのですか？」

「これは週刊誌の記事よ」

「でもドイツの週刊誌でしょう。ドイツでの反応は書いていないのですか？」

「少し書いてあるわ。緑の党は『7月10日のフランス政府の表明は歓迎、でも実際に発表のように進むかどうかは不安に思っている』って。ドイツ政府は、国境近く原発での危険性が遠のくことへの安堵感を率直に述べているわね」

「ちょっと別な話をしてもいいですか？」

「じゃ、フランス政府の廃炉発表のことは終わってもいいのね」

「全然関係ないっていう訳じゃないのですが……。7月15日に新松浦漁協が玄海原発再稼働反対海上デモをしていましたね、僕はテレビで見ました。新松浦漁協は、長崎県松浦市鷹島に拠点をおく漁協で、鷹島は、佐賀県の玄海原発から10キロも離れていないのに、長崎県だからと「地元」とみなされていなくて、正式のルートでの意見表明が出来ないと聞きました。くやしいでしょうね……。それに対してドイツとフランスは別の国でしょう。隣の国の原発が『不安だ』と批判したり、隣の国の廃炉表明を『よく言ってくれた』と支持したりしているけど、これって、日本の政治家に真似して欲しいな」

「日本の批評家は自分の意見は言わないし、日本の政治家は自分の意見は言わないものよ。知らなかったの？」

「知らなかったわけじゃないけど。原発政策も、政治家のセンスも、相当違うのだなあー、遅れているなあーと改めて……」

「日本の遅れているところを、他にも教えてあげようか？」

「いや、今日はもういいです」

「そうね。私も疲れてきたわ」

「そうですね。それじゃ、僕は帰ります」

「えっ、帰るの？ テントに私一人？ もうしゃべらないから、もうしばらくいて」

「じゃ、あと少し……」

(以下次号)

(文責 栗山次郎) 2017年7月24日公開

[参照](#) :

[http://www.stern.de/news/frankreichs-umweltminister-stellt-abschaltung-von-atomreaktoren-in-aussicht-7531830.html?utm\\_campaign=alle-nachrichten&utm\\_medium=rss-feed&utm\\_source=standard](http://www.stern.de/news/frankreichs-umweltminister-stellt-abschaltung-von-atomreaktoren-in-aussicht-7531830.html?utm_campaign=alle-nachrichten&utm_medium=rss-feed&utm_source=standard)